



民族衣装のドアマンがゲストを迎えるホテル正面エントランス



2階テラスより俯瞰したロビーラウンジ。天井から梵鐘のように下がったタイ・スタイルの大風鈴が印象的だ



コロニアル旧館、オーサース・ウィングにある優雅なラウンジ「Author's Lounge」



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

マンダリン オリエンタル、 バンコック Mandarin Oriental, Bangkok

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



チャオプラヤ川対岸から望む「Mandarin Oriental, Bangkok」のリバー・ウィングと右手ガーデン・ウィング。専用の渡し船がホテルと対岸の「The Oriental Spa」を結んでいる



チャオプラヤ川を望むスイミングプール

オリエンタルの原点である旧館オーサース・ウィング



「Author's Lounge」のガーデン側に向けたスパティールーム



100年前のチーク材で家屋を復元したスパ「The Oriental Spa」のレセプションデスク



オールデイダイニング「Verandah」のテラス席



伝統的タイ料理レストラン「Sala Rim Naam」。毎晩、伝統のタイ舞踊が披露される



コロニアル旧館、オーサース・ウィングにあるスイート102号室、「Somerset Maugham Suite」の天蓋付きのクラシカルなベッドルーム



伝統のチーク材で仕上げた重厚なバスルーム

「Somerset Maugham Suite」の優雅な玄関前ホワイエ

1980年代、米国金融雑誌「Institutional Investor」の世界ベストホテルランキングで、何年にもわたり連続1位に輝いた伝説的名門ホテルである。1876年に創業以来、タイ・バンコクを代表する迎賓館の役割を担ってきた「Oriental Hotel」が前身である。1974年にマンダリン・オリエンタルグループ傘下に入った後も、誇りの「オリエンタル・ホテル」の名を冠していたが、2008年に現在の「Mandarin Oriental, Bangkok」に改称している。(以下、MO/BK)

オリエンタルの歴史を彩るのが、このホテルを愛した文豪たちである。サマセット・モーム、ジョセフ・コンラッドなど数多くの作家がホテルに滞在し、ここで執筆を続けた。コロニアル風の旧館オーサース・ウィングは文豪たちに敬意を表し「作家の館」と称され、2階にはサマセット・モームなど彼ら作家4人の名を冠したスイートが残されている。書棚に並べられた文豪たちの作品に思いを馳せて「Author's Lounge」で頂く優雅なアフタヌーンティーは、実に贅沢な時間の過ごし方だ。また、隣接するガーデン・ウィングのトップフロアにはフランスの「Le Normandie」があり、正統派のフランス料理を堪能できる。

MO/BKは1976年に最新の本館リバー・ウィングを加え、35室のスイートと358室のゲストルームを擁すアジア屈指のホテルである。民族衣装のドアマンに導かれ本館ロビーに入ると、天井から梵鐘のように釣り下がる数多くのタイ・スタイルの優美な大風鈴に目を奪われる。ロビーラウンジからチャオプラヤ川に向かう屋外回廊の右手にはオールデイダイニング「The Verandah」とメインバー「The Bamboo Bar」が並び、2階部分にはシーフードの「Lord Jim's」がある。一方、左手には緑豊かな庭園に大小二つのスイミングプールを用意している。河畔のテラスには観光客に人気の「Riverside Terrace」があり、そこからホテル専用の渡し船が対岸に連絡している。渡し船が向こう岸に着くと、伝統的タイ料理の「Sala Rim Naam」があり、毎晩披露される伝統のタイ舞踊が好評だ。また、100年前のチーク材で家屋を復元したスパ「The Oriental Spa」は技術の評価と共に人気が高い。

MO/BKは先の大戦中、日本の帝国ホテルが運営を委託された時期もあったが、現在に至るまで世界のホテルエグゼクティブがそのサービスの高さを認めるホテルだ。そこには宿泊客に感動を与えた数々の「伝説や逸話」が勲章として残されている。その道のプロが絶賛する究極のホスピタリティが今も生きる、世界でも数少ない名門ホテルと言えよう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

